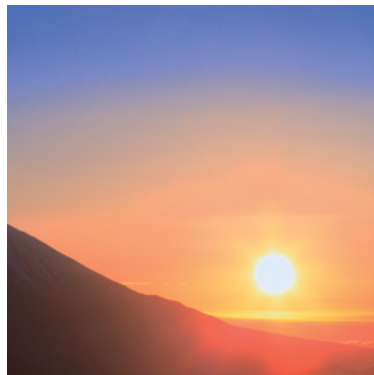




国立公園マーク作成について

デザインコンセプト



太陽が地平線から昇る様子を表したマークです。

鮮やかな色のグラデーションで

日本らしい霞がかった風景を表現しました。

幾何図形を用いて日の出を抽象化することにより

豊かな多様性を内包する「空間」としての

国立公園を簡潔に表しています。

デザイナー紹介

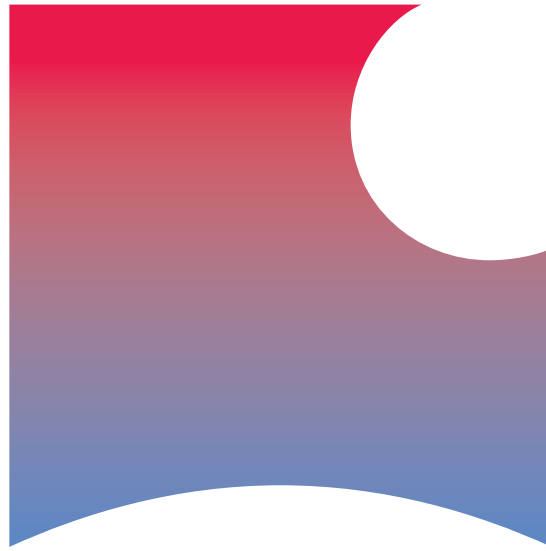
色部義昭 (いろべよしあき)

グラフィックデザイナー／アートディレクター

1974年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了。株式会社日本デザインセンター色部デザイン研究室主宰。東京藝術大学非常勤講師。主な仕事に市原湖畔美術館や天理駅前広場CoFuFunのVI（ヴィジュアル・アイデンティティ）とサイン計画、東京藝術大学VI、TAKEO PAPER SHOW 2011「本」や中房総国際芸術祭いちほらアート×ミックスのデザインディレクション。白鶴酒造や江崎グリコの商品パッケージデザインなどグラフィックデザインの技術と編集的な視点を軸に平面から立体、空間まで幅広くデザインを展開。銀座地区サイン実証実験やTOKYO PROJECTなどのプロジェクトを通して公共空間のインフォメーションデザインの機能と質を向上させることについて模索している。

ADC（東京アートディレクターズクラブ）賞やJAGDA（日本グラフィックデザイナー協会）、SDA（サインデザイン大賞）やOne Show Design、D&AD（British Design and Art Direction）など国内外のデザイン賞を受賞。グッドデザイン賞やADC賞、Design Excellence Award、D&ADなどのデザイン賞で審査員や、目黒区美術館などでのデザインワークショップでの講師も務めている。AGI会員（国際グラフィック連盟）、ADC（東京アートディレクターズクラブ）会員、JAGDA（日本グラフィックデザイナー協会）会員。

National Parks of Japan



パンフレットへの展開イメージ



園内サインへの展開イメージ

